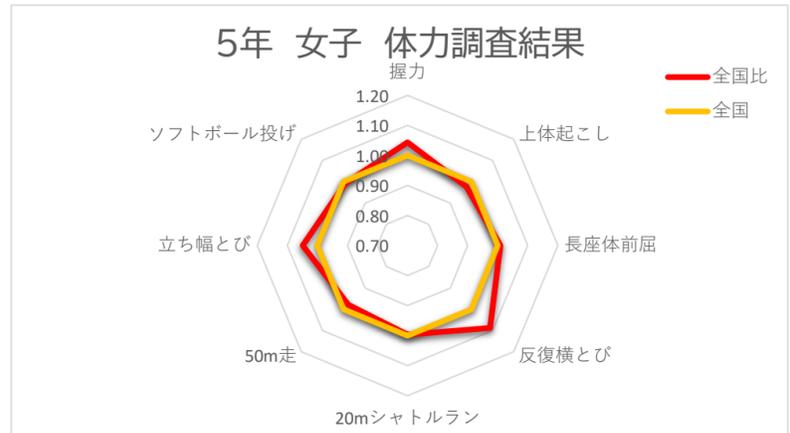
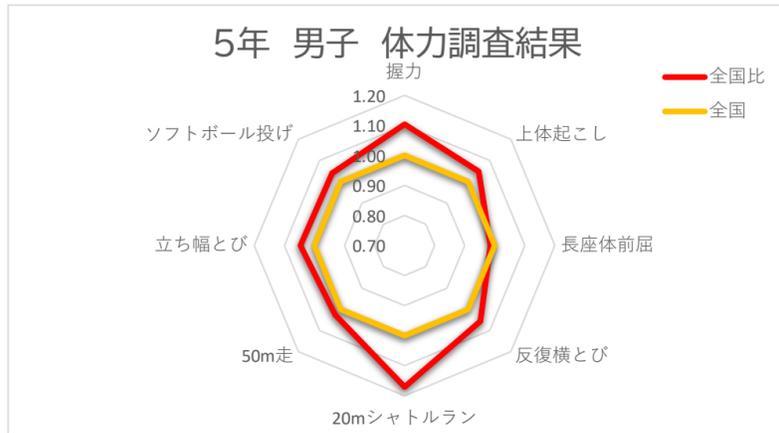
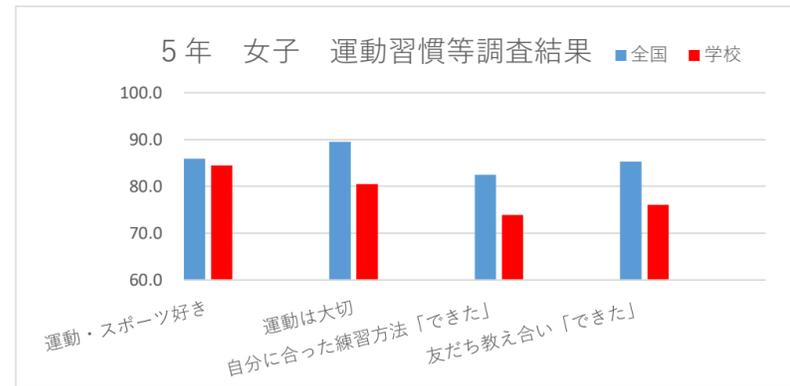
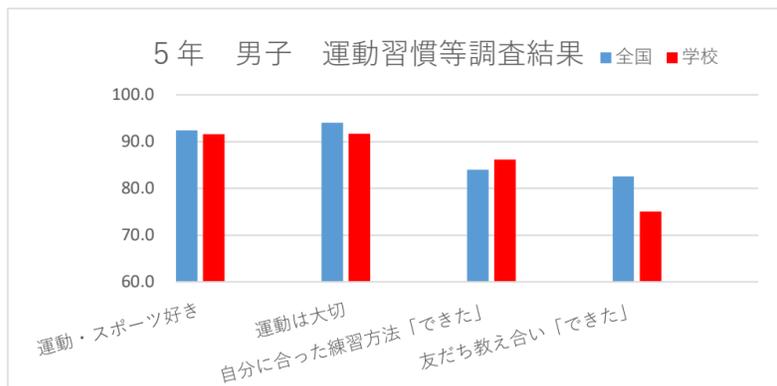


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

昨年度の取り組みにより改善はみられたが、長座体前屈、上体起こしの数値が低く、柔軟性に課題がある。
運動や体育の授業が楽しいと答えた児童が全国平均を下回っている。
姿勢保持が苦手な児童があり、すり足で歩く児童が多いため、歩くときに姿勢が傾いている児童がいる。

② 目標・めざす子ども像

児童の柔軟性を高める。
運動に関心をもち、運動を自ら進んで楽しめる子の育成。
運動習慣を進んで身につけることができる子の育成。

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
体育授業の始め、授業の間の茨木っ子運動	全学年	通年	○	○	○	
縄跳びと体力づくりカードの配布および、縄跳び習慣の実施	全学年	3学期	○		○	
丘ストレッチの実施	全学年	通年	○		○	
保健だよりと食育だよりを掲示	全学年	通年		○	○	○
栄養教諭から食育について指導	全学年	通年		○	○	○
体育委員会で縄跳びの飛び方についての紹介を全校で伝える	全学年	3学期	○			
マラソン大会と大会までの練習	全学年	3学期	○	○	○	